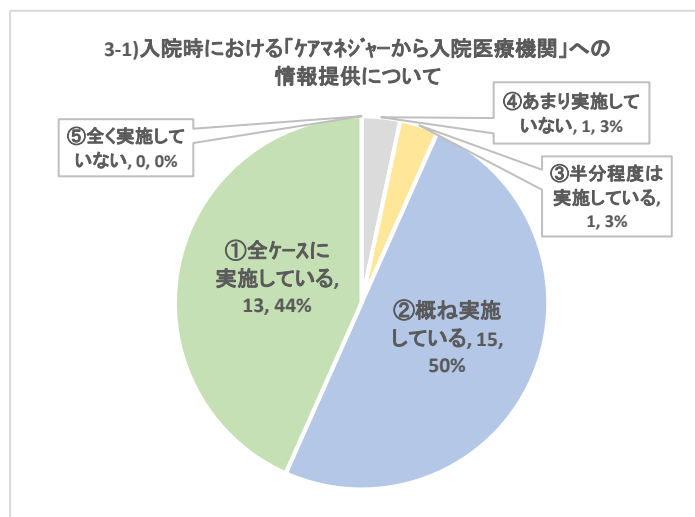


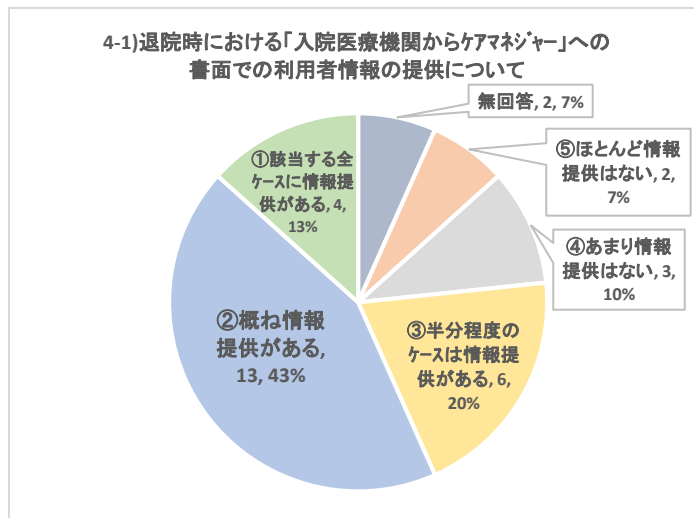
2-2)「入院時情報共有シート」の運用に関することやその他意見

- ・利用者が入院した場合、支援の方も要介護の方も送っている。
- ・遠賀中間地域以外にも、この様式を使用している。
- ・活用し、問題ありません。
- ・予防の方は統一書式を利用しています。
- ・シートができてから提供(必要な)できる情報が表示しやすくなったと思います。
- ・とても使いやすい。時間をそれ程取らずに作成できる。活用している。
- ・コロナの関係で病院の方から訪問して下さいと言われた方については訪問していますが、訪問出来ない事が多いので、TELの後、アセスメント表及び計画書をFAXしたりして対応しています。
- ・町内と、特定の病院にのみ使用している。



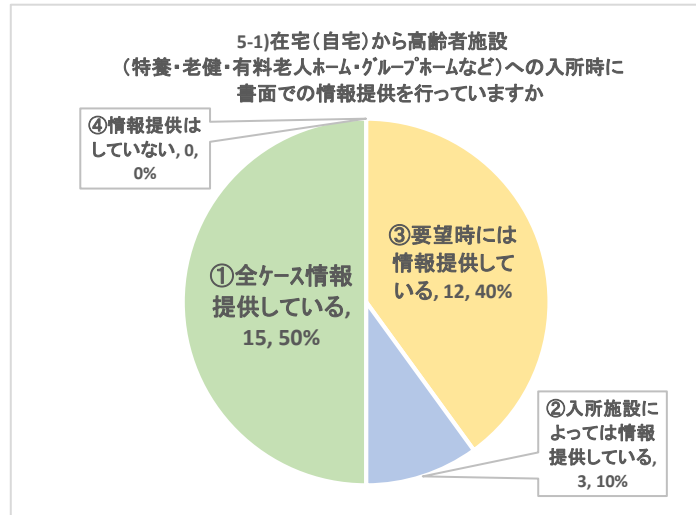
3-2)③④⑤と答えた方:送付に至らなかった理由

- ・病院から依頼があれば実施している。
- ・病院から連絡があった場合のみ。



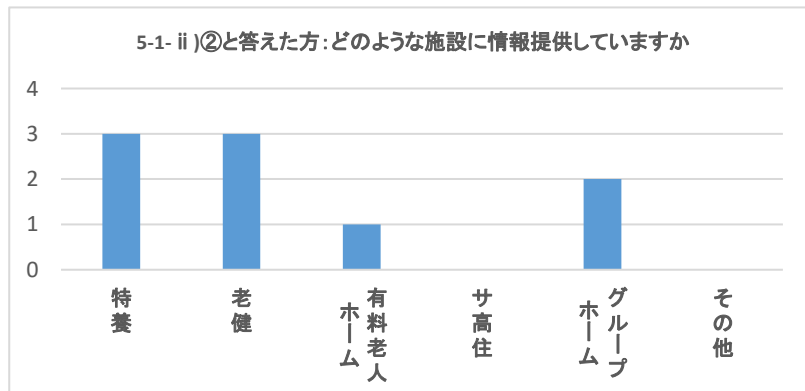
4-2) 退院時の情報連携や「退院時情報共有シート」に関すること等の意見

- ・看護サマリーは送ってこられるので、退院時情報共有シートは送っていない。
- ・救急病院はこちらから請求しないと頂けない。看護サマリーがない事もあり電話で聞き取る。退院の連絡が遅い。
- ・シートに表示している内容以外を確認する事もあります。基本的な状況を表示して下さる事で助かりますが、病院側の書式で来る事が多くあるのも現状です。
- ・以前はシートを頂くことがあったが、最近はサマリー、リハ添書のみ頂くことが多い。処方内容を添付されていないケースもありケアマネとしては必要な為、是非頂きたい。
- ・情報を送ったものについては、全て返して頂きたい思いはある。先生の指示と伺った事があり、仕方ないとは思っている。
- ・退院時情報共有シートは頂いたことがありません。退院前に入院医療機関から直接電話での情報提供や看護サマリーは頂くことが多いです。
- ・コロナでご本人様と会えない状況が続いていますので、看護サマリーやシート等頂くととてもありがたいです。
- ・せめて入院情報を出した利用者の方への退院情報があればと思う。
- ・新規依頼での退院の場合、退院前から情報共有に関する書類交付があるととても助かります。
- ・退院時情報共有シートを目にする事はほとんどありません。
- ・退院後の生活プランの参考になります。



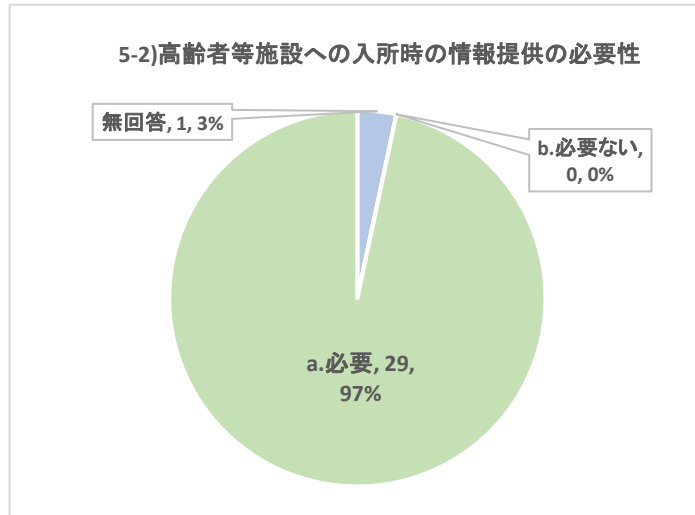
5-1- i)①と答えた方:特に留意されている点

- ・ふだんの様子。どんな事で喜ぶか、怒ってしまう事があるか。
- ・アセスメント、介護保険情報は必ず渡している。
- ・本人家族の意向や考え方、本人家族の関係性に重点を置いている。
- ・本人の希望や対応の仕方、本人が望む事などしっかりと情報を伝えている。
- ・在宅での生活状況。
- ・ご本人と家族の関係の良し悪し。
- ・疾患やADL認知症等、なるべく細かく解り易いようにと心掛けています。書面だけでなく口頭で伝達しています。
- ・アセスメントシート(基本情報)を使用している。
- ・利用者さんの特性や継続してほしいケアなどは細かく引き継ぐようにしています。
- ・今までのサービス利用状況や身体面、精神面の情報提供を行い、新しい環境に不安等を軽減できるようにと考えている。
- ・ADLや問題行動等の記入、家族関係等。
- ・本人の状態、家族との関係(緊急時の対応など)、経済状況等を伝える。
- ・モニタリングとアセスメントを一緒に送ったり、日常生活状況を詳しく伝えたりしています。
- ・現在の状況を正確に伝える様にしている。



5-1- ii)②と答えた方:特に留意されている点

- ・これまでどんな生活をされてこられたか等。
- ・今までの生活歴や家族とのかかわりなどを身体状況とは別に記入するようにしている。



5-2)意見

- ・在宅での生活状況が把握でき、施設での生活に役立ててもらいたいと思う為。
- ・大変必要だと思う。本人の状態、家族の考え方等も協力的かどうか。
- ・在宅での生活の様子、身体状況、家族状況を詳しく伝え、退所時にも相談支援ができる。
- ・在宅から入院し退院時に入所するケースでは、情報を求められないことがあり、情報共有の必要を疑問に思うこともある。おおむね必要と思う。
- ・今後も今までの生活を分かった上で支援していくため必要。
- ・必要と信じて行っているが、時折先方様から塩対応だと凹む。整形やリハビリ病院ほどの熱意は感じない。
- ・今までの在宅での生活が少しでも継続でき、情報共有する事で安心して生活ができると思います。
- ・在宅生活の状況を知っておく事も大切と思います。施設に入所する事で不安を感じる方も多く、コミュニケーションを早くとれる事などが必要と思います。
- ・今までの生活がどのようになされていたか、ご本人やご家族の特長等は今後の支援で必要と思われるため、伝えるようにしている。
- ・ご本人、家族を良く理解して引き受けて頂きたいので、必要と思う。
- ・入所後、本人様にとって少しでも過ごしやすい環境を整える為にも、情報提供は必要だと考えます。
- ・ご利用者についての情報は多ければ多いほどよいのではないかと思います。
- ・利用者さんの生活の場となるので、情報提供、共有は必須だと考えています。(家族の情報も)
- ・利用者によって必要性はあると思います。個人情報もありますので、くわしい事は言えない。
- ・今までの生活の様子や状況、体の状態把握等で必要性はあると思います。
- ・情報共有は当たり前のことと思います。

6)医療職・介護職間の連携体制について気づいた点・その他意見

- ・「入退院時情報共有シート」は他地区にはありません。他地区のケアマネに話したら、うらやましそうでした。共通の情報が持てるので良いと思います。
- ・退院時情報共有シートをもらった事はありません。看護、リハビリサマリーはいただいています。在宅中の状況と、退院時の状況が違う事があるので、日常生活での変化は知りたいです。
- ・コロナ禍で医療は特に大変な状況だと思いますが、治療後は在宅または施設に退院するので、状況を早目に共有して頂きたい(退院当日または退院後に連絡では遅い)。一部の医療機関、訪問看護でMCSを活用されています。福祉もできるだけ早く共有できるようにしたいが、それぞれの事業所の環境の違いがあり難しい。
- ・いつもありがとうございます。
- ・退院時の連絡もない病院がある。
- ・コロナの問題で退院カンファレンスがほぼない状況です。主治医と直接話しをする事も出来ず、在宅に戻る事も多くなっています。先日、A病院のソーシャルの方に伝えると、退院サマリーを早目に頂く事ができ情報収集ができました。退院支援看護ソーシャルとの連携がスムーズにできる事で、自宅に帰って来られた時のサービスが確実に的確にできました。在宅では係わる専門職がMCSで情報共有する事もあり、その場で意見など表記して頂く事でとても助かっています。
- ・今のところスムーズに連携することができている。
- ・在宅総合支援センターの存在はありがたいと思っています。相談しやすく対応もして下さるので助かります。
- ・アンケートの集計結果などから地域の課題は抽出されていると思います。また課題に対する取り組みなどについても、専門部会でしっかり協議できていると思います。
- ・MCSの活用を検討して頂きたい。
- ・独居の方など入院された事を知らない事があるため、そのような情報から共有できればありがたいと思います。
- ・遠賀郡内の病院との連携はしやすいと考えています。